



## 平成29年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月12日

上場会社名 株式会社 ラクト・ジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 3139 URL http://www.lactojapan.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 元久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当 (氏名) 前川 昌之 TEL 03 (6214) 3831  
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年11月期第1四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第1四半期	21,777	△2.4	777	23.0	1,272	374.7	857	442.2
28年11月期第1四半期	22,315	—	632	—	267	—	158	—

(注) 包括利益 29年11月期第1四半期 593百万円 (—%) 28年11月期第1四半期 △392百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第1四半期	175.28	175.16
28年11月期第1四半期	32.33	—

28年11月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年11月期第1四半期	39,292	11,856	30.2	2,424.82
28年11月期	37,561	11,419	30.4	2,335.43

(参考) 自己資本 29年11月期第1四半期 11,856百万円 28年11月期 11,419百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	—	—	32.00	32.00
29年11月期	—	—	—	—	—
29年11月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,711	△5.8	596	33.2	394	45.8	80.58
通期	87,660	△1.2	1,440	0.4	980	3.6	200.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年11月期1Q	4,889,500株	28年11月期	4,889,500株
② 期末自己株式数	29年11月期1Q	33株	28年11月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年11月期1Q	4,889,484株	28年11月期1Q	4,889,500株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれております。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2016年11月に行われた米大統領選挙においてトランプ氏が当選したことを受け、米国の景気拡大期待から米国をはじめとする世界の金融市場は概ね好調に推移することとなり、為替市場は円安・ドル高、日本株式市場も堅調に推移することとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、主要な事業である乳原料・チーズ部門を中心に着実な営業を展開し販売数量を伸ばすとともに、アジア事業におけるチーズ製造部門においても受注が増加し、生産量も拡大しております。また、足元における国際乳製品価格は堅調に推移しているものの、当第1四半期における乳原料・チーズ部門の販売単価は、価格が安い時期に契約した商品の販売が行われたことから前年同期比で18.1%低下しております。そのため好調な営業活動により販売数量は6.6%増加したものの、売上高としては減少しております。

その結果、当第1四半期累計期間の業績といたしましては、売上高は217億77百万円（前年同期比2.4%減）となりましたが、販売数量の増加や売上原価の低い商品の販売等により営業利益は7億77百万円（前年同期比23%増）、さらに経常利益は円安進行に伴う為替ヘッジ取引による為替差益の影響等もあり、12億72百万円（前年同期比374.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億57百万円（前年同期比442.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ17億31百万円増加し、392億92百万円となりました。

## (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ17億17百万円増加し、368億50百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が減少したものの、商品及び製品、原材料及び貯蔵品がそれぞれ増加したことによるものとなります。

## (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ13百万円増加し、24億42百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の市場価格の上昇によるものです。

## (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ12億32百万円増加し、137億32百万円となりました。主な要因は、その他に含まれる未払費用および未払消費税が減少したものの、買掛金、短期借入金がそれぞれ増加したこと等によるものです。

## (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ61百万円増加し、137億4百万円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したものの、社債が増加したこと等によるものとなります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ4億37百万円増加し、118億56百万円となりました。主な要因は、繰延ヘッジ損益が3億54百万円減少したものの、利益剰余金が7億円増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月期の連結業績予想は、平成29年1月12日に公表いたしました内容から変更してありません。

当社の輸入取引における仕入契約は原則として外国通貨建となっており、為替変動リスクを回避するため、仕入契約締結の際に金融機関と為替予約を結んでおります。

また、当社は会計規則に基づき、仕入計上時期を船積日とし、仕入計上に使用する為替レートは船積日の実勢レートとしております。（予約レートではない）

一方で、当社の標準的な営業循環では仕入契約から商品が船積されるまでに平均2-3か月の期間があり、その1か月後に仕入代金の決済が行われ、さらにその2か月後に売上が計上されます。

従いまして、仕入契約時に為替リスクをヘッジしても、仕入契約から仕入計上までの期間に為替変動があった場合には、損益計算書の各利益段階では、為替変動による影響を受けることになります。

具体的に仕入契約時点から仕入計上時点までの間に円安が進行した場合には、以下のとおりとなります。

①仕入代金決済時

仕入計上レート（円安）と仕入決済レート（予約レート＝円高）の差により、営業外収益として為替差益が先行して計上されます。（経常利益・増）

②売上計上時

売上が計上された際には、売上計上レート（契約レート＝予約レート＝円高）と仕入計上レート（円安）の差が売上総利益に含まれて計上されます。（売上総利益、営業利益、経常利益・減）

これら①、②により契約締結時に想定していた利益を確保することとなります。

（円高進行時には、逆に営業外費用として為替差損が先行して計上され、売上計上時には売上総利益が大きくなります。）

また、4半期決算などのタイミングにより、売上が完了していない場合には、上記①における為替差益のみが先行して計上されるため経常利益の増加のみが反映されることがあります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,724,447	5,448,603
受取手形及び売掛金	14,278,160	14,905,572
商品及び製品	12,909,750	15,721,143
原材料及び貯蔵品	191,306	267,194
その他	1,028,974	508,071
流動資産合計	35,132,639	36,850,585
固定資産		
有形固定資産	662,556	635,493
無形固定資産	55,588	44,891
投資その他の資産	1,712,177	1,763,111
貸倒引当金	△1,432	△1,432
固定資産合計	2,428,890	2,442,064
資産合計	37,561,530	39,292,649
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,890,365	7,756,073
短期借入金	209,421	1,209,687
1年内償還予定の社債	620,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	3,474,068	3,245,162
未払法人税等	297,693	425,139
その他	1,007,997	356,422
流動負債合計	12,499,545	13,732,484
固定負債		
社債	1,590,000	2,050,000
長期借入金	11,209,000	10,769,000
退職給付に係る負債	297,072	247,080
役員退職慰労引当金	268,745	—
資産除去債務	35,631	36,598
その他	242,470	601,411
固定負債合計	13,642,920	13,704,091
負債合計	26,142,465	27,436,575
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,094,969	1,094,969
資本剰余金	1,143,439	1,143,439
利益剰余金	8,207,504	8,908,072
自己株式	—	△52
株主資本合計	10,445,913	11,146,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	301,195	332,846
繰延ヘッジ損益	449,957	95,926
為替換算調整勘定	221,997	280,871
その他の包括利益累計額合計	973,151	709,644
純資産合計	11,419,064	11,856,073
負債純資産合計	37,561,530	39,292,649

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
売上高	22,315,810	21,777,862
売上原価	20,947,705	20,237,889
売上総利益	1,368,105	1,539,973
販売費及び一般管理費	736,065	762,502
営業利益	632,039	777,470
営業外収益		
受取利息	911	1,153
受取配当金	2,192	2,474
為替差益	—	611,004
雑収入	9,293	5,599
営業外収益合計	12,397	620,231
営業外費用		
支払利息	72,312	56,136
支払手数料	66,670	59,755
為替差損	227,273	—
雑損失	10,190	9,604
営業外費用合計	376,446	125,497
経常利益	267,990	1,272,204
特別利益		
固定資産売却益	118	847
特別利益合計	118	847
税金等調整前四半期純利益	268,109	1,273,052
法人税等	110,036	416,019
四半期純利益	158,072	857,032
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,072	857,032

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	158,072	857,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,198	31,650
繰延ヘッジ損益	△350,145	△354,031
為替換算調整勘定	△171,911	15,185
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,598	43,688
その他の包括利益合計	△550,853	△263,507
四半期包括利益	△392,780	593,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△392,780	593,525
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。